

令和7年度事務事業一覧表

課名: **スポーツ健康課**

事業番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
1	保健衛生総務運営事業	課内庶務等	②
2	救急医療事業	初期救急・二次救急医療	①
3	医師会・歯科医師会連絡調整事業	医師会・歯科医師会連絡調整	-
4	こころといのちのサポート事業	自殺対策、こころの健康	-
5	食育推進事業	食育推進全般	-
6	高齢者予防接種事業	定期・任意予防接種	①
	健康増進事業		
7	健康増進事業	成人歯科健診、肝炎検査、運動講座等	-
8	オリジナル健康体操事業	おおいそ骨太体操・大磯こゆるぎ体操の普及	-
9	がん検診推進事業	各種がん(胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺・口腔)検診	①
10	後期高齢者健診推進事業	後期高齢者健診	①
11	長寿・健康増進事業	健康教育・健康相談(栄養相談)	①
12	スポーツ推進委員運営事業	生涯スポーツの普及(ニュースポーツ普及、活動報告)	-
	保健体育総務運営事務事業		
13	保健体育総務運営事務事業	スポーツ関係庶務、スポーツ教室開催、スポーツ少年団活動補助	-
14	スポーツ健康イベント事業	大磯チャレンジフェスタ2025	-
15	町スポーツ協会育成補助事業	スポーツ振興・交流、各種町民スポーツ大会開催、かながわ駅伝大会	-
16	一周駅伝大会運営事業	第72回大磯一周駅伝大会・第13回大磯小学生駅伝大会	-
17	スポーツチャレンジ事業	子ども水泳教室、スポーツ鬼ごっこ教室、バドミントン教室等	-
18	武道館維持管理事業	維持管理	-
	施設開放管理運営事業		
19	学校施設等開放事業	小中学校・民間施設の施設開放	-
20	学校プール開放事業	国府小学校プールの開放	-
21	他課との連携事業	専門職による連携	-
	<国民健康保険特別会計>		
22	特定健康診査事業	特定健診の実施	①
23	特定保健指導事業	特定保健指導の実施	①
24	特定保健指導生活習慣病対策重点事業	生活習慣病対策の実施	①

予算事業名	医師会・歯科医師会連絡調整事業							事業番号	02 - 09 - 03			
細分事業名	—							シート作成日	令和7年8月15日			
予算科目	会計	01	款	04	項	01	目	01	事業	05	事業開始年度	—
												事業終了予定年度
部等名				課等名				係名				
町民福祉部				スポーツ健康課				健康増進係				

計画 (Plan)	総合計画	P 38	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり								
			部門	6 保健・医療								
			大施策	B 地域医療の充実								
			中施策	(1) 医療体制の強化								
			施策目標	救急医療・地域医療を整備するとともに、救急医療体制を維持し、かかりつけ医を持つことを推進します。								
	事業の概要			根拠法令・条例等	医療法、神奈川県保健医療計画、中郡医師会交付金交付要綱、平塚歯科医師会交付金交付要綱							
				個別計画等	けんこうプラン大磯							
				行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—		
				目的 (何のために)	町民の地域医療体制及び災害時医療体制の確保							
				対象 (誰を・何を)	中郡医師会、平塚歯科医師会							
			内容	保健衛生事業の円滑な実施と安定的な医療体制の確保と災害時医療についての協議などを進めるための費用の一部を交付金として交付する。								

実施 (Do)	事業費	執行体制		その他				
				単位	R04年度(決算)	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)
		直接事業費(a)		千円	1,604	1,624	1,624	1,683
		財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
			一般財源		1,604	1,624	1,624	1,683
		職員人数(概算職員数)		人	0.32	0.30	0.40	0.45
		人件費計(b)		千円	1,888	1,771	2,367	2,862
総事業費(a)+(b)		千円	3,492	3,395	3,991	4,545		
事業費内訳(千円) R 07 年度		医師会交付金1,089千円、歯科医師会交付金594千円						

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			休日急患当番医制対応医療機関数				23施設	
	指標名		単位	項目	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)	R08年度(目標)
	対象指標 (対象者数等)	医師会班会会員数	人	—	17	19	19	20
	活動指標 (活動量)	医師会班会	回	計画値	10	10	10	10
				実績値	10	10	—	—
	成果指標 (達成度等)	医師会班会協力事業数	件	目標値	9	9	9	9
				実績値	9	9	—	—
				達成率	100.0%	100.0%	—	—
	定性的成果		—					

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	② 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価等における指摘事項		—		
主な改善経過 (過去4年間)		地域医療の充実と町保健事業への協力について、検討を重ねてきている。医療・介護連携事業や災害時医療体制についても、医師会・歯科医師会・薬剤師会とともに検討を続けている。			
課題		災害時医療体制について、特に医師会・歯科医師会・薬剤師会の相互理解や協力体制について強化していく。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持	
		理由	町の保健医療に関して、医師会・歯科医師会・薬剤師会と検討する必要があるが、連絡調整のための会議等の開催により、検討の場が確保できているため。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	医療救護所訓練、大磯町保健医療連絡協議会等を通して、医師会・歯科医師会・薬剤師会と災害時医療体制の検討を行う。							
		R08年度	医療救護所訓練、大磯町保健医療連絡協議会等を通して、医師会・歯科医師会・薬剤師会と災害時医療体制の検討を行う。							
	R07年度改善事項		大磯町保健医療連絡協議会において、医師会・歯科医師会・薬剤師会と大磯町災害時医療救護所協力員等により、災害時医療救護研修会や総合防災訓練に合わせて医療救護所訓練を実施した。							
	記入日									
	令和8年3月23日									

予算事業名	こころといのちのサポート事業							事業番号	02 - 09 - 04		
細分事業名	—							シート作成日	令和7年8月15日		
予算科目	会計	01	款	04	項	01	目	01	事業	06	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
町民福祉部				スポーツ健康課				健康増進係			

計画 (Plan)	総合計画	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり									
		部門	6 保健・医療									
		大施策	A 健康づくりの充実									
		中施策	(2) ライフステージに合わせた健康づくり									
		施策目標	各ライフステージの健康課題に合わせた事業を展開します。									
	事業の概要		根拠法令・条例等	自殺対策基本法、自殺総合対策大綱								
			個別計画等	かながわ自殺対策計画、けんこうプラン大磯、大磯町自殺対策計画								
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—			
			目的 (何のために)	誰も自殺に追い込まれることのない大磯町の実現								
			対象 (誰を・何を)	全町民								
		内容	いのちのはなし事業(小学生対象)、こころの健康セミナー、傾聴講座、研修会(中学生、保護者等の子どもを見守る大人、女性対象)									

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費(a)	単位	R04年度(決算)	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)	
		財源内訳	千円	371	254	509	538	
			国庫支出金	千円				
			県支出金		194	103	230	294
			起債					
			その他					
	一般財源	177	151		279	244		
	職員人数(概算職員数)		人	0.13	0.46	0.55	0.55	
	人件費計(b)		千円	767	2,715	3,254	3,499	
総事業費(a)+(b)		千円	1,138	2,969	3,763	4,037		
事業費内訳(千円) R 07 年度		講師等謝金150千円、消耗品費68千円、事業委託料220千円、いのちのはなし事業委託料100千円						

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			4か月児健康診査受診率				100%	
	指標名		単位	項目	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)	R08年度(目標)
	対象指標 (対象者数等)	町民	人	—	31,146	31,833	30,728	30,728
	活動指標 (活動量)	こころの健康セミナー開催数	回	計画値	1	1	1	1
				実績値	1	1	—	—
	成果指標 (達成度等)	こころの健康セミナー参加者	人	目標値	30	30	30	30
				実績値	13	26	—	—
達成率				43.3%	86.7%	—	—	
定性的成果		自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)とともに、こころの健康セミナーの実施により、町民のこころを健康するための知識の向上に努め、自殺の予防を図った。						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	④ 成果を計ることはなじまない		
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである		
過去の外部評価等における指摘事項		—			
主な改善経過 (過去4年間)		<p>こころの健康セミナーは、毎年、住民ニーズを取り入れた内容を検討し実施していたが、令和元年～2年については新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催をやむなく中止している。</p> <p>いのはなはなは、平成27年に中学校2校で思春期ふれあい体験としてスタートし、平成28年からは一部委託し、小・中学校4校で実施したが、小学校高学年で行うことが適当であることから、平成30年以降は、毎年小学校2校での実施としている。平成31年3月に大磯町自殺対策計画を策定し、国の自殺総合対策大綱の見直し等を受け、令和6年3月に改訂した。</p>			
課題		<p>新型コロナウイルス感染症の状況下、自殺者は増加傾向であり、大磯町でも令和3年4人、令和4年7人、令和5年2人、令和6年2人、大切な命が失われた。人とのつながり、コミュニケーションの機会が奪われる中で、メンタルヘルスに関する啓発や周知はさらに必要である。</p>			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	改善	R04年度	改善
		理由	より多くの住民に参加してもらうために周知の方法やテーマの検討を行う。						
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	より多くの住民に参加してもらうために、令和6年度は保護者が主な対象だった研修会の対象を拡大し、子どもを見守る大人として行い、隔年で実施していた傾聴講座を通年で行う。また、周知の方法の検討を行う。						
		R08年度	より多くの住民に参加してもらうために周知の方法やテーマの検討を行う。						
	R07年度改善事項	町民、女性、小学生、中学生、子どもに関わる方、町職員を対象とした研修会を実施し、対象に合わせた自殺対策を図った。また、広報、ホームページ、LINE等による自殺対策の事業の周知や自殺予防の啓発を実施した。							
	記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	食育推進事業								事業番号	02 - 09 - 05		
細分事業名	—								シート作成日	令和7年8月15日		
予算科目	会計	01	款	04	項	01	目	01	事業	08	事業開始年度	—
												事業終了予定年度
部等名				課等名				係名				
町民福祉部				スポーツ健康課				健康増進係				

計画 (Plan)	総合計画	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり										
		部門	6 保健・医療										
		大施策	A 健康づくりの充実										
		中施策	(1) 地域ぐるみの健康・生きがいがづくり										
		施策目標	地域で健康・生きがいがづくりに取り組む団体の活性化を推進します。										
	事業の概要		根拠法令・条例等	食育基本法									
			個別計画等	食育推進基本計画、神奈川県食育推進計画、けんこうプラン大磯									
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—				
			目的 (何のために)	町民一人ひとりが食に対する関心を持ち、心身ともに健全な食生活を送るための知識を身につけるために食育の推進を図る。									
			対象 (誰を・何を)	町民									
		内容	けんこうプラン大磯に沿って調理実習を含んだ教室の開催、食に関する講座の開催、食生活改善推進員の養成及び育成等										

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	国庫支出金	千円	379	395	415	446
			県支出金		95			
			起債	千円				
			その他		29	42	71	93
			一般財源		255	353	344	353
	職員人数 (概算職員数)	人	1.10	0.83	0.73	0.67		
	人件費計 (b)		千円	5,390	4,899	4,319	4,262	
	総事業費 (a) + (b)		千円	5,769	5,294	4,734	4,708	
事業費内訳 (千円) R 07 年度		会計年度任用職員報酬161千円、会計年度任用職員共済組合負担金1千円、講師等謝金14千円、会計年度任用職員費用弁償7千円、消耗品費200千円、傷害保険料9千円、事業委託料54千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			おあしす24から地域主体の通いの場への転換数			3件		
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	前年度講座参加者数	人	—	252	264	268	275
	活動指標 (活動量)	現年度講座参加者数	回	計画値	252	264	268	275
				実績値	264	268	—	—
成果指標 (達成度等)	前年度との比較	人	目標値	100	100	100	100	
			実績値	105	102	—	—	
			達成率	105.0%	102.0%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している		
過去の外部評価等における指摘事項	—				
主な改善経過 (過去4年間)	けんこうプラン大磯に基づき、共食を普及する教室を実施した。例年キャンセル待ちが出るなど、申し込みが多い事業については回数を見直し、増設した。料理教室の自己負担金を見直した。料理教室を大磯町食生活改善推進団体に委託し、人件費等の削減を行った。				
課題	食育への関心が薄く、教室等に参加しない町民への周知・啓発が必要である。食生活改善推進団体会員の減少と高齢化が進んでいるため対応が必要である。				

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	—	R04年度	—
		理由	食育推進基本計画、神奈川県食育推進計画、けんこうプラン大磯に即して事業を実施し、より多くの町民に食育を普及を必要がある。						
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	幅広い年代への食育の意識づけを図るため、新たに防災食体験や料理初心者を対象とした教室を実施する。また、町内で食に関する活動をしている方の活動紹介をするとともに、食育の啓発を行う。食生活改善推進団体会員を増やすため、食生活改善推進員を養成する講座を開催し、町広報等を活用し講座の周知を行う。						
R08年度		幅広い年代への食育の意識づけを図るため、教室を実施し、また、町内で食に関する活動をしている町民の活動紹介をするとともに、食育の啓発を行う。食生活改善推進団体会員を増やすため、食生活改善推進員を養成する講座を開催し、広報等を活用し講座の周知を行う。							
R07年度改善事項	食育だよりを発行し、町内で食に関する活動を町民の紹介を行い、ホームページにレシピ動画を公開し、食育の啓発に図った。また、食育に関する講演会や調理実習を含んだ講座を開催した。食生活改善推進員を養成する講座を開催し、広報等を活用し講座の周知を行った。								
記入日	令和8年3月23日								

予算事業名	健康増進事業				事業番号	02 - 09 - 07					
細分事業名	—				シート作成日	令和7年8月15日					
予算科目	会計	01	款	04	項	01	目	03	事業	01	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
町民福祉部				スポーツ健康課				健康増進係			

計画 (Plan)	総合計画	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり		
		部門	6 保健・医療		
		大施策	A 健康づくりの充実		
		中施策	(3) 疾病予防を重視した健康づくり		
		施策目標	健診(検診)の受診率向上、健診(検診)結果の生活習慣病予防への活用を図ります。		
	事業の概要	根拠法令・条例等	健康増進法、歯と口腔の健康づくり推進条例		
	個別計画等	けんこうプラン大磯			
	行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
	目的 (何のために)	歯周病予防、生活習慣病の予防、介護予防、健康意識の向上、健康づくりの仲間づくり			
	対象 (誰を・何を)	成人歯科健診(年度中に20、25、30、35、40、45、50、55、60、65、70歳になる町民)			
内容	生活習慣病(歯周病を含む)予防のために、各種検診、健康相談などを実施する。				

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費(a)	単位	R04年度(決算)	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)	
		財源内訳	千円	3,243	3,444	3,497	4,600	
			国庫支出金	千円	800	1,431	1,424	1,880
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	2,443	2,013					
	職員人数(概算職員数)	人	0.14	0.43	0.81	0.61		
	人件費計(b)	千円	826	2,538	4,793	3,880		
総事業費(a)+(b)	千円	4,069	5,982	8,290	8,480			
事業費内訳(千円) R07年度	会計年度職員報酬670千円、会計年度任用職員共済組合負担金3千円、講師謝金7千円、消耗品費51千円、印刷製本費800千円、通信運搬費397千円、事業委託料40千円、肝炎ウイルス検査委託料607千円、成人歯科健診委託料1,485千円、健康診査委託料540千円、							
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			特定健診受診率			40%		
	指標名		単位	項目	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)	R08年度(目標)
	対象指標(対象者数等)	成人歯科健診対象者数	人	—	3,379	3,961	3,802	3,800
	活動指標(活動量)	成人歯科健診受診者数	人	計画値	150	280	270	270
				実績値	204	175	—	—
成果指標(達成度等)	成人歯科健診受診率	%	目標値	4.4	7.1	7.1	7.1	
			実績値	6.0	4.4	—	—	
			達成率	136.4%	62.0%	—	—	
定性的成果	—							

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している		
過去の外部評価等における指摘事項	—				
主な改善経過 (過去4年間)	成人歯科健診について、平塚歯科医師会に委託し、近隣1市2町の登録医療機関で受診できるようにしている。対象者に受診券を発送し、健康カレンダーや町広報、歯の健康フェスタ等において周知している。大磯町歯と口腔の健康づくり推進条例(平成28年度制定)の周知を含め、平成29年度は法定の対象者、40歳、50歳、60歳、70歳に、41歳から45歳を加えて実施し、平成30年度は、さらに若い時期からの啓発のため、法定のものに35歳を対象者に加えた。令和元年度より35歳から5歳ごとの対象とした。令和2年度より口腔がん検診を追加した。令和6年度より20歳、25歳、35歳を対象者に追加した。				
課題	生活習慣病(歯周病を含む)予防のために、成人歯科健診の受診率を向上させる必要がある。				

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	改善	R04年度	改善
		理由	けんこうプラン大磯・歯と口腔の健康づくり推進条例に即して事業を実施、推進するため、歯周病予防の普及啓発がさらに必要と考えられる。						
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	6月の歯と口の健康週間に合わせて、平塚歯科医師会、二宮町と共同で歯の健康フェスタを開催し、歯の健康についての普及啓発を実施する。また、成人歯科健診の個別受診勧奨等を行い、受診率向上に向けた取組みや歯周病予防の啓発を実施する。						
		R08年度	歯の健康についての普及啓発を実施し、また、成人歯科健診の個別受診勧奨を行い、受診率向上に向けた取組みや歯周病予防の啓発を実施する。						
	R07年度改善事項	成人歯科健康診査の対象者への受診券の送付、広報、ホームページ、LINEによる勧奨、歯科医師会、二宮町と協力し、歯の健康フェスタを実施した。							
	記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	健康増進事業							事業番号	02 - 09 - 08		
細分事業名	オリジナル健康体操事業							シート作成日	令和7年8月15日		
予算科目	会計	01	款	04	項	01	目	03	事業	01	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
町民福祉部				スポーツ健康課				健康増進係			

計画 (Plan)	総合計画	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり								
		部門	6 保健・医療								
		大施策	A 健康づくりの充実								
		中施策	(1) 地域ぐるみの健康・生きがづくり								
		施策目標	地域で健康・生きがづくりに取り組む団体の活性化を推進します。								
	事業の概要	根拠法令・条例等	健康増進法								
	個別計画等	けんこうプラン大磯									
	行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	-			実施項目名	-				
	目的 (何のために)	生活習慣病の予防、介護予防、健康意識の向上、仲間づくり									
	対象 (誰を・何を)	町民に対して「大磯骨太体操」「大磯こゆるぎ体操」を普及啓発									
内容	町民自身が生活習慣病の予防、介護予防、健康意識の向上、仲間づくりを推進するために、おおいそ骨太体操ボランティアや大磯こゆるぎ体操元普及委員の協力を得て、町民へ広く普及する。										

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	国庫支出金	千円	206	222	208	237
			県支出金	千円	137	126	138	158
			起債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	69	96	70	79
	職員人数 (概算職員数)	人	0.23	0.33	0.12	0.34		
	人件費計 (b)	千円	1,357	1,948	710	2,163		
	総事業費 (a) + (b)	千円	1,563	2,170	918	2,400		
事業費内訳 (千円) R 07 年度	講師謝金14千円、委託料223千円							
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			おあしす24から地域主体の通いの場への転換数			40%		
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	おおいそ骨太体操講習会 こゆるぎ体操研修会 述べ参加者数	人	—	842	1,172	1,215	1,215
	活動指標 (活動量)	おおいそ骨太体操講習会 こゆるぎ体操研修会	回	計画値	81	81	81	81
				実績値	81	80	—	—
成果指標 (達成度等)	1回あたりの参加人数	人	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	
			実績値	10.4	14.6	—	—	
			達成率	69.3%	97.3%	—	—	
定性的成果	—							

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	② 統合に向けた検討は可能		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである		
	過去の外部評価等における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	<p>おおいそ骨太体操の普及については、ボランティアが高齢化し、会員が減っていく中でも、年間70回以上の講習会の開催は維持できている。大磯こゆるぎ体操普及員には、研修会の支援やそれぞれの地域活動のなかで実施し、報告を集めていたが、平成29年度に終了した。大磯こゆるぎ体操は、元普及員による講習会を年2回実施している。</p>			
	課題	おおいそ骨太体操の普及ボランティアの減と高齢化が進んでいる。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	—	R04年度	—
		理由	おおいそ骨太体操ボランティアの会は、高齢化しているが、年間70回以上の講習会を開催できているため、会員の意向を尊重しながら、活動を支援する。今後は、骨太・こゆるぎ体操にこだわらず、地域の集いの場や介護予防活動などへ、ボランティア活動の方向を柔軟に変えていくことも視野にいれていく。						
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	おおいそ骨太体操ボランティアの会の活動支援による講習会の維持、スクエアステップリーダー会によるスクエアステップのひろばでの普及継続を行う。						
R08年度		おおいそ骨太体操ボランティアの会の活動支援による講習会の維持、スクエアステップリーダー会によるスクエアステップのひろばでの普及継続を行う。							
	R07年度改善事項	おおいそ骨太体操、こゆるぎ体操、スクエアステップ等の運動に関する講習を開催し、生活習慣病の予防や介護予防等の健康の維持、向上に努めた。また、広報に健康体操の特集記事を掲載し、講習の周知を実施した。							
	記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	スポーツ推進委員運営事業				事業番号	2 - 9 - 12						
細分事業名	—				シート作成日	令和7年8月15日						
予算科目	会計	01	款	10	項	06	目	01	事業	01	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
町民福祉部				スポーツ健康課				スポーツ推進係				

計画 (Plan)	総合計画	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり									
		部門	7 健康づくり・スポーツ									
		大施策	A スポーツ・レクリエーション活動の推進									
		中施策	(2) 団体・指導者の育成、指導体制の充実									
		施策目標	スポーツ指導者やボランティアを育成するとともに、スポーツ関係団体の育成、連携を進めていきます。									
	事業の概要	根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町スポーツ推進委員に関する規則									
	個別計画等	けんこうプラン大磯										
	行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—					
	目的 (何のために)	スポーツの推進を目的として、社会体育事業の積極的な活動運営を行う組織を育成する。										
	対象 (誰を・何を)	全町民										
内容	スポーツ実技の指導、その他スポーツに関する指導・助言を行い、さらにはスポーツ推進の企画・コーディネーターとしての役割を担う組織の育成し、行政機関の行うスポーツ健康事業へ協力するなどのスポーツ推進事業を行う。											

実施 (Do)	事業費	執行体制		職員実施				
				単位	R04年度(決算)	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)
		直接事業費(a)		千円	743	741	663	782
		財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
		一般財源		743	741	663	782	
		職員人数(概算職員数)	人	0.24	0.27	0.25	0.18	
		人件費計(b)	千円	1,416	1,594	1,479	1,145	
総事業費(a)+(b)	千円	2,159	2,335	2,142	1,927			
事業費内訳(千円) R 07 年度	報酬459千円、旅費33千円、需用費210千円、役務費3千円、負担金補助及び交付金77千円							

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			スポーツ指導者バンク登録者数				13人	
	指標名		単位	項目	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)	R08年度(目標)
	対象指標 (対象者数等)	スポーツ推進委員	人	—	18	16	17	18
	活動指標 (活動量)	主催イベント数	回	計画値	4	4	5	5
				実績値	4	4	—	—
	成果指標 (達成度等)	主催イベント参加者数	人	目標値	180	180	180	180
				実績値	111	118	—	—
				達成率	61.7%	65.6%	—	—
	定性的成果	—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである		
過去の外部評価等における指摘事項	—				
主な改善経過 (過去4年間)	町民の多様化するニーズに合わせた主催イベント（スポーツ教室等）の内容を検討した。				
課題	町民の多様化するニーズに合わせたスポーツ教室等の開催。 スポーツ推進委員の人材確保。 イベントの広報手段の検討。				

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
		理由	スポーツ推進の機会として、スポーツ推進委員協議会が主体的にスポーツ教室等を開催できており、一定の参加者も集められている。また、行政機関の行うスポーツ健康事業に対し積極的に協力を行っており、スポーツ推進委員の人材確保を継続的に行いつつ、活動を維持していきたいと考えているため。						
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	町民の多様化するニーズに対応するためのニュースポーツなどスポーツ推進に関する情報収集・イベント事業の検討。 スポーツ推進委員の人材確保のための活動内容の周知。 「スポ推だより」を発行し、活動内容を広く周知。 イベント広報の方法や予約受付方法（ネット予約）の検討。						
		R08年度	町民の多様化するニーズに合わせたニュースポーツなどのイベント事業の実施。 スポーツ推進委員の人材確保のための活動内容の周知。 「スポ推だより」を発行し、活動内容を広く周知。 イベント広報の方法や予約受付方法（ネット予約）の検討。						
	R07年度改善事項	令和7年度から新たな事業として「モルック」を実施した。大磯チャレンジフェスタ2025でブースを出展し、約500名の来場者にモルックを体験していただいた。 「スポ推だより」を全戸配布し、スポーツ推進委員の活動を広く周知した。 イベント広報として小学校へチラシ配布を行い、小学生を対象とした事業（スノーケリング・親子サッカー）は多くの参加者があった。							
	記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	保健体育総務運営事務事業							事業番号	2 - 9 - 13			
細分事業名	—							シート作成日	令和7年8月15日			
予算科目	会計	01	款	10	項	06	目	01	事業	02	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
町民福祉部				スポーツ健康課				スポーツ推進係				

計画 (Plan)	総合計画	P 40	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり								
			部門	7 健康づくり・スポーツ								
			大施策	A スポーツ・レクリエーション活動の推進								
			中施策	(2) 団体・指導者の育成、指導体制の充実								
			施策目標	スポーツ指導者やボランティアを育成するとともに、スポーツ関係団体の育成、連携を進めていきます。								
	事業の概要			根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町スポーツ表彰要綱、大磯町スポーツ少年団活動事業補助金交付要綱							
				個別計画等	けんこうプラン大磯							
				行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—		実施項目名	—			
				目的 (何のために)	町民の健康づくり、社会体育活動の推進を目的として、関係機関との連絡調整を行うとともにスポーツ団体等への補助を行う。							
				対象 (誰を・何を)	全町民							
			内容	スポーツ少年団への活動支援を行う。 また、スポーツ競技力の向上及び町民のスポーツ活動の高揚を図るため、スポーツの競技会等において優秀な成績を収めた方、本町のスポーツの発展に寄与した方を讃えるためにスポーツ表彰を行う。								

実施 (Do)	執行体制		職員実施						
	事業費	財源内訳	直接事業費 (a)	千円	398	400	1,056	452	
			国庫支出金	千円	県支出金				
					起債				
					その他				
					一般財源	398	400	1,056	452
					職員人数 (概算職員数)	人	0.24	0.22	0.40
			人件費計 (b)	千円	1,416	1,298	2,367	1,654	
			総事業費 (a) + (b)	千円	1,814	1,698	3,423	2,106	
			事業費内訳 (千円) R 07 年度	報酬20千円、旅費10千円、需用費112千円、役務費18千円、使用料及び賃借料212千円、負担金補助及び交付金80千円					

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			スポーツ指導者バンク登録者数				13人	
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	スポーツ少年団	団体	—	3	3	3	3
	活動指標 (活動量)	スポーツ少年団員	人	計画値	90	98	107	107
				実績値	98	107	—	—
	成果指標 (達成度等)	スポーツ少年団活動件数	回	目標値	70	78	79	79
実績値				78	79	—	—	
達成率				111.4%	101.3%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価等における指摘事項		—		
主な改善経過 (過去4年間)		補助団体の自主的な事業の推進。 スポーツ少年団事業であるスポーツ体カテストを交流会としてスポーツ鬼ごっこを行うことにより、各スポーツ少年団間の交流を図った。			
課題		スポーツ少年団への加入者増加による青少年の育成。 スポーツ優秀賞、スポーツ功労賞対象者に対する確実な表彰。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持	
		理由	スポーツ少年団の加入者が年々増加し、自主的な活動も展開できており、青少年の育成が図られているため。 また、スポーツに対する町民の関心を高めるとともに、町のスポーツ推進、選手の士気高揚のため、スポーツ表彰を継続して実施する必要がある。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	加入者の増加や現状の課題について、スポーツ少年団と意見交換を行う。 スポーツ優秀賞、スポーツ功労賞対象者の発掘のための情報収集をする。							
		R08年度	加入者の増加や現状の課題について、スポーツ少年団と意見交換を行う。 スポーツ優秀賞、スポーツ功労賞対象者の発掘のための情報収集をする。							
	R07年度改善事項		大磯町スポーツ顕彰の制度により、4名のスポーツ選手を広報やホームページにて紹介し、スポーツ優秀賞、スポーツ功労賞対象者の発掘のための情報収集をした。 スポーツ少年団の募集については、引き続き広報等により周知を行っていく。							
	記入日									
	令和8年3月23日									

予算事業名	保健体育総務運営事務事業						事業番号	2 - 9 - 14				
細分事業名	スポーツ健康イベント事業						シート作成日	令和7年8月15日				
予算科目	会計	01	款	10	項	06	目	01	事業	02	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名			課等名					係名				
町民福祉部			スポーツ健康課					スポーツ推進係				

計画 (Plan)	総合計画	P 40	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり							
			部門	7 健康づくり・スポーツ							
			大施策	A スポーツ・レクリエーション活動の推進							
			中施策	(1) 誰もが参加できる活動環境の充実							
			施策目標	ライフステージに応じた誰もが気軽に参加できる健康づくりやスポーツの機会を提供します。							
	事業の概要		根拠法令・条例等	スポーツ基本法							
			個別計画等	けんこうプラン大磯							
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—		
			目的 (何のために)	町民のスポーツ推進及び健康増進を目的として、スポーツと健康を中心に、多種多様な内容で、幼児から高齢者まで誰もが参加できるイベントを開催する。							
			対象 (誰を・何を)	全町民							
		内容	多くの町民に生涯スポーツの体験と健康づくりの積極的な参加を促すため、関係団体から構成される実行委員会にてスポーツイベント「チャレンジフェスタ」を開催。								

実施 (Do)	執行体制		職員実施					
	事業費	財源内訳	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)
			国庫支出金	千円	2,503	1,000	1,000	1,000
			県支出金	千円	200		104	
			起債	千円				
			その他	千円				
		一般財源	千円	2,303	1,000	896	1,000	
			職員人数 (概算職員数)	人	0.54	0.40	0.45	0.21
			人件費計 (b)	千円	3,187	2,361	2,663	1,336
			総事業費 (a) + (b)	千円	5,690	3,361	3,663	2,336
		事業費内訳 (千円) R 07 年度	負担金補助及び交付金 : 1,000千円					

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			スポーツ教室・町スポーツ協会主催大会数				410回	
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	町民	人	—	31,146	30,833	30,728	30,728
	活動指標 (活動量)	チャレンジフェスタ参加者数	人	計画値	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績値	1,500	2,000	—	—
	成果指標 (達成度等)	参加率	%	目標値	6.4	6.4	6.5	6.5
				実績値	4.8	6.5	—	—
達成率				75.0%	101.6%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである		
過去の外部評価等における指摘事項	—				
主な改善経過 (過去4年間)	<p>令和4年度からコロナ禍明けのため、開催時間を短縮。協賛金が減の中で短縮の方がイベントに活気があるため、午前中開催を継続。</p> <p>令和6年度から参加者の健康増進のため、徒歩で来場された方が歩数計1,500歩以上の提示することで景品をプレゼントする「チャレンジウォーク」を実施。</p>				
課題	<p>実行委員会形式による継続的な開催。</p> <p>新たな駐車場、アクセス方法の確保による参加者の増加。</p>				

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	<p>チャレンジフェスタについては、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、令和4年度から縮小開催として再開した。出店団体数や参加者数が安定して確保できている町民ニーズに合致したイベントであり、継続開催をしていきたいと考えている。</p>							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	<p>過去の協賛企業の継続獲得と新規協賛企業の獲得。 開催時間延長の検討。 シャトルバスの経路や公園外の駐車場の設置検討。</p>						
		R08年度	<p>過去の協賛企業の継続獲得と新規協賛企業の獲得。 開催時間の検討。 シャトルバスの経路や公園外の駐車場の設置検討。</p>						
	R07年度改善事項	<p>協賛企業が3社増加した。 令和元年度以来、開催時間を午後3時まで延長した。 駐車場不足解決のため、国府小学校及びおおいそ学園の駐車場を借用し、シャトルバスを増設した。</p>							
	記入日								
	令和8年3月23日								

予算事業名	町スポーツ協会育成補助事業							事業番号	2 - 9 - 15		
細分事業名	—							シート作成日	令和7年8月15日		
予算科目	会計	01	款	10	項	06	目	01	事業	03	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
町民福祉部				スポーツ健康課				スポーツ推進係			

計画 (Plan)	総合計画	P 40	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり							
			部門	7 健康づくり・スポーツ							
			大施策	A スポーツ・レクリエーション活動の推進							
			中施策	(2) 団体・指導者の育成、指導体制の充実							
			施策目標	スポーツ指導者やボランティアを育成するとともに、スポーツ関係団体の育成、連携を進めていきます。							
	根拠法令・条例等			スポーツ基本法、大磯町スポーツ協会各種大会事業補助金交付要綱、スポーツ振興交付金交付要綱、大磯町姉妹都市スポーツ交流事業補助金交付要綱							
	個別計画等			けんこうプラン大磯							
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—			実施項目名	—		
	目的 (何のために)			町のスポーツ活動の振興・普及を目的として、スポーツ基本法が定める広く住民が自主的かつ積極的に参加できるような競技会、スポーツ教室等のスポーツ行事の実施及び奨励を行うため、大磯町スポーツ協会への補助を行う。							
	対象 (誰を・何を)			大磯町スポーツ協会							
内容			各種大会開催の補助金、活動に対するスポーツ振興交付金の交付、小諸市スポーツ協会との交流事業補助金及びかながわ駅伝競走大会への選手派遣委託								

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	千円	1,802	1,994	2,272	2,016	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	1,802	1,994		2,272	2,016		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.25	0.12	0.25	0.11		
	人件費計 (b)	千円	1,475	708	1,479	700		
総事業費 (a) + (b)	千円	3,277	2,702	3,751	2,716			
事業費内訳 (千円) R 07 年度		委託料150千円、負担金補助及び交付金1,866千円						

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			スポーツ指導者バンク登録者数				13人	
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	町スポーツ協会	部数	—	17	17	17	17
	活動指標 (活動量)	大会数	大会	計画値	27	25	25	25
				実績値	24	25	—	—
	成果指標 (達成度等)	大会参加者数	人	目標値	2,100	2,100	2,100	2,100
実績値				1,576	1,742	—	—	
達成率				75.0%	83.0%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである		
過去の外部評価等における指摘事項	—				
主な改善経過 (過去4年間)	大磯町スポーツ協会と連携した各種大会、各種イベントの継続的な開催による町民の体力向上、健康づくりを行った。 各種大会の周知のため、町ホームページに大会予定表を掲載した。				
課題	大会参加者数の増加。 スポーツ協会会員の新規会員				

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	大磯町スポーツ協会と連携した各種大会、各種イベントの開催により、町民の体力向上や健康づくりにつなげられており、今後も町民が大会に参加しやすい環境をつくっていく必要がある。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	大磯町スポーツ協会と連携した大会参加者数増加方法の検討を行う。 大磯町スポーツ協会の会員増加や現状の課題について、意見交換を行う。						
		R08年度	大磯町スポーツ協会と連携し、大会参加者数増加に向けて、周知方法を検討する。 大磯町スポーツ協会の会員増加や現状の課題について、意見交換を行う。						
R07年度改善事項	広報及び町ホームページを活用し、大会周知及び参加人数の増加を図った。								
記入日	令和8年3月23日								

予算事業名	一周駅伝大会運営事業				事業番号	2 - 9 - 16					
細分事業名	—				シート作成日	令和7年8月15日					
予算科目	会計	01	款	10	項	06	目	01	事業	04	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
町民福祉部				スポーツ健康課				スポーツ推進係			

計画 (Plan)	総合計画	P 40	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり			
			部門	7 健康づくり・スポーツ			
			大施策	A スポーツ・レクリエーション活動の推進			
			中施策	(1) 誰もが参加できる活動環境の充実			
			施策目標	ライフステージに応じた誰もが気軽に参加できる健康づくりやスポーツの機会を提供します。			
	事業の概要		根拠法令・条例等	スポーツ基本法			
			個別計画等	けんこうプラン大磯			
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
			目的 (何のために)	町民の体力づくりの一環として体育活動の理解・関心の深化、町民の体力向上と健康的な生活の確立、駅伝の競技力の向上を目的として駅伝大会を開催する。			
			対象 (誰を・何を)	大磯一周駅伝は中学生以上、小学生駅伝大会は小学4年生～6年生でチームを構成			
		内容	第72回大磯一周駅伝大会（運動公園スタート・ゴール）と、第13回小学生駅伝大会の管理運営を行う。				

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	千円	1,001	1,047	1,118	2,571	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					1,413
		一般財源	1,001		1,047	1,118	1,158	
	職員人数 (概算職員数)	人	0.26	0.35	0.40	0.16		
	人件費計 (b)	千円	1,534	2,066	2,367	1,018		
総事業費 (a) + (b)	千円	2,535	3,113	3,485	3,589			
事業費内訳 (千円) R 07 年度		職員手当等184千円、需用費300千円、役務費64千円、委託料2,023千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			スポーツ教室・町スポーツ協会主催大会数			410回		
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	参加チーム数 (一周・小学生)	チーム	—	30・3	28・3	30・10	30・10
	活動指標 (活動量)	スタッフ数	人	計画値	200	200	200	200
				実績値	211	206	—	—
成果指標 (達成度等)	参加者数	人	目標値	180	180	180	180	
			実績値	180	168	—	—	
			達成率	100.0%	93.3%	—	—	
定性的成果		—						

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある	
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある	
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない	
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである
評価 (Check)	過去の外部評価等における指摘事項	—	
	主な改善経過 (過去4年間)	<p>地区チーム参加促進のため、町外在住・在勤者の帰省地参加資格（在住在勤でなくても大磯町同一地区在住期間が10年以上の場合は、住所のあった帰省地地区選手として出場を認める）の規定を導入した。</p> <p>大会スタッフを確保するため、団体チームの出場には駅伝大会運営人員（監察員、走路員等）の派遣を必要とする規定を導入した。</p>	
	課題	<p>小学生駅伝大会参加団体の確保</p> <p>大会運営に係る役員及び協力者の負担軽減の検討</p>	

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	町主催により円滑に大会を実施できており、事業目的を果たしているため。						
改善 (Action)	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	<p>人員削減及び集計業務効率化等のため、ICチップを使用した記録計測を導入する。</p> <p>大会スタッフ確保のためのボランティア募集方法等の検討。（監察配置必要箇所や配置人数の検討を含む）</p> <p>大会の運営方法（各種マニュアル）などを改良していく。</p> <p>小学生駅伝大会の参加チームの増加に向けて、各小学校にチラシを配布する。</p>					
		R08年度	<p>小学生駅伝大会の参加チームの増加に向けて、各小学校にチラシ等を配布する。</p> <p>また、併せてSNSを活用し、参加募集を行う。</p>					
	R07年度改善事項	<p>ICチップを使用した記録計測を導入し、人員削減及び集計業務効率化を図った。</p> <p>大磯一周駅伝部門と大磯小学生駅伝部門をほぼ同時に開催し、開催時間の短縮を図った。</p> <p>過去の小学生駅伝参加チーム等に勧奨通知を送付するなど、参加チームの増加を図った。</p>						
	記入日	令和8年3月23日						

予算事業名	スポーツチャレンジ事業				事業番号	2 - 9 - 17						
細分事業名	—				シート作成日	令和7年8月15日						
予算科目	会計	01	款	10	項	06	目	01	事業	06	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部 等 名				課 等 名				係 名				
町民福祉部				スポーツ健康課				スポーツ推進係				

計 画 (P l a n)	総 合 計 画	P 40	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり								
			部 門	7 健康づくり・スポーツ								
			大施策	A スポーツ・レクリエーション活動の推進								
			中施策	(1) 誰もが参加できる活動環境の充実								
			施策目標	ライフステージに応じた誰もが気軽に参加できる健康づくりやスポーツの機会を提供します。								
	事業の概要			根拠法令・条例等	スポーツ基本法							
				個別計画等	けんこうプラン大機							
				行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—		
				目的 (何のために)	幼児期や少年期にスポーツや運動に親しむ機会をより多く提供することを目的として、各種スポーツ教室を開催する。							
				対 象 (誰を・何を)	町内在住・就学及び未就学の児童							
			内 容	町立プール、学校プールにおいて子ども水泳教室を開催。スポーツ鬼ごっこ教室などの各種スポーツ教室を総合型地域スポーツクラブ、民間スポーツクラブ等と連携して開催								

実 施 (D o)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他				9	19
			一般財源		390	428	470	524
		職員人数 (概算職員数)	人	0.25	0.20	0.20	0.21	
	人件費計 (b)	千円	1,475	1,180	1,183	1,336		
	総事業費 (a) + (b)	千円	1,865	1,608	1,662	1,879		
事業費内訳 (千円) R 07 年度		需用費40千円、役員費13千円、委託料490千円						
指 標 値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			スポーツ教室・町スポーツ協会主催大会数			410回		
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	年中～小学6学年	人	—	2,008	1,951	1,920	1,920
	活動指標 (活動量)	教室開催日数	日	計画値	8	8	8	8
				実績値	8	8	—	—
	成果指標 (達成度等)	参加人数	人	目標値	197	381	398	398
実績値				381	398	—	—	
定性的成果		—						

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
	過去の外部評価等における指摘事項	—		
主な改善経過 (過去4年間)	町民の多様化するニーズに合わせたスポーツ教室の内容の検討。			
課題	スポーツ教室参加者の増加。 町民のニーズに合ったスポーツ教室の開催。			

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	事業委託することにより安全で、内容の充実したスポーツ教室を実施できており、今後も継続していきたいと考えているため。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	新規スポーツ教室の検討。 町民の多様化するニーズに合わせたスポーツ教室等の開催。 開催時期について、他のイベント日との重複や熱中症が危惧される時期を避ける。						
	R08年度	既存スポーツ教室の継続及び新規スポーツ教室の開催の検討。 町民の多様化するニーズに合わせたスポーツ教室等の開催。 開催時期について、他のイベント日との重複や熱中症が危惧される時期を避ける。						
R07年度改善事項	新たなスポーツ教室として、「ビーチヨガ教室」「サップ教室」を実施した。 開催時期については、他のイベント日との重複や7月から9月の暑い時期を避けて行った。							
記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	武道館維持管理事業					事業番号	2 - 9 - 18							
細分事業名	—					シート作成日	令和7年8月15日							
予算科目	会計	01	款	10	項	06	目	02	事業	01				
	事業開始年度										—			
事業終了予定年度										—				
部等名					課等名					係名				
町民福祉部					スポーツ健康課					スポーツ推進係				

計画 (Plan)	総合計画	P 40	柱	I 安心安全でいきいきとくらすまちづくり							
			部門	7 健康づくり・スポーツ							
			大施策	A スポーツ・レクリエーション活動の推進							
			中施策	(3) 公共施設の利活用の推進							
			施策目標	気軽にスポーツ活動ができる環境づくりとして、既存の施設の利活用を図ります。							
	事業の概要			根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町立武道館条例						
				個別計画等	けんこうプラン大磯						
				行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—		実施項目名	—		
				目的 (何のために)	武道の振興と普及により体力向上と心身の健全な発達に寄与することを目的とする。						
				対象 (誰を・何を)	全町民						
			内容	武道館の適正な維持管理及び運営、町民の武道振興武道団体の活動への支援、武道（柔道、剣道、空手道）教室を実施する。							

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	国庫支出金	千円	2,638	997	983	969
			県支出金		1,287			
			起債	千円				
			その他		38	41	51	324
			一般財源		1,313	956	932	645
		職員人数 (概算職員数)	人	0.24	0.12	0.15	0.16	
	人件費計 (b)	千円	1,416	708	888	1,018		
	総事業費 (a) + (b)		千円	4,054	1,705	1,871	1,987	
事業費内訳 (千円) R 07 年度		需用費149千円、委託料820千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			スポーツ施設利用件数 (町立武道館、学校施設開放)			3,300件		
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	利用登録団体	団体	—	26	29	29	29
				計画値	900	900	900	900
	活動指標 (活動量)	利用件数	件	実績値	813	901	—	—
				目標値	64	64	64	64
成果指標 (達成度等)	稼働率	%	実績値	57	63	—	—	
			達成率	88.9%	98.4%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している	
	過去の外部評価等における指摘事項	—			
主な改善経過 (過去4年間)	予算の範囲内で老朽化する施設の修繕（プレス壁修繕工事、男子トイレ洋式化工事、トイレ水栓等自動化修繕、防火ドア修繕、窓鍵修繕、防火扉修繕、フィルムミラー修繕）を実施した。				
課題	施設の老朽化に対する対策や、稼働率の更なる向上が必要である。				

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持	
		理由	新型コロナウイルス感染症の影響があったが、武道館の稼働率は増加傾向にあり、6割以上の方に利用されていること、武道教室の参加者数も増加傾向にあることから、武道の推進に寄与できている。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	予算の範囲内で老朽化する施設の修繕を行う。 武道以外の団体の利用促進方法を検討する。 武道館利用の申し込み方法を公共施設予約システムに移行検討する。 武道館利用に当たり、使用上のルールを徹底を呼び掛ける。							
		R08年度	予算の範囲内で老朽化する施設の修繕を行う。 武道以外の団体の利用促進方法を検討する。 武道館利用の申し込み方法を公共施設予約システムに移行検討する。 武道館利用に当たり、使用上のルールを徹底を呼び掛ける。							
	R07年度改善事項	有圧扇交換修繕、防火扉建付調整、更衣室レーン修繕及び武道館清掃委託を実施し、適切な維持管理を行った。								
	記入日									
	令和8年3月23日									

予算事業名	施設開放管理運営事業						事業番号	2 - 9 - 19			
細分事業名	学校施設等開放事業						シート作成日	令和7年8月15日			
予算科目	会計	01	款	10	項	06	目	02	事業	02	
										事業開始年度	—
									事業終了予定年度	—	
部等名				課等名				係名			
町民福祉部				スポーツ健康課				スポーツ推進係			

計画 (Plan)	総合計画	P 40	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり							
			部門	7 健康づくり・スポーツ							
			大施策	A スポーツ・レクリエーション活動の推進							
			中施策	(3) 公共施設の利活用の推進							
			施策目標	気軽にスポーツ活動ができる環境づくりとして、既存の施設の利活用を図ります。							
	事業の概要			根拠法令・条例等	学校教育法、スポーツ基本法、大磯町公立学校使用条例及び施行規則、大磯町立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則、大磯町立学校屋外運動場夜間照明施設使用条例及び施行規則						
				個別計画等	けんこうプラン大磯						
				行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—		実施項目名	—		
				目的 (何のために)	町民のスポーツ推進及び健康増進、体力向上を目的とする。						
				対象 (誰を・何を)	町立小・中学校のグラウンド及び体育館、大磯中学校の夜間照明施設を利用する団体						
			内容	町立小・中学校のグラウンド及び体育館、大磯中学校の夜間照明施設を町民へ開放するための管理運営を行う。							

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	国庫支出金	千円	204	317	1,194	588
			県支出金					
			起債	千円				
			その他		189	238	219	238
			一般財源		15	79	975	350
		職員人数 (概算職員数)	人	0.24	0.14	0.20	0.16	
	人件費計 (b)	千円	1,416	826	1,183	1,018		
	総事業費 (a) + (b)	千円	1,620	1,143	2,377	1,606		
事業費内訳 (千円) R 07 年度		需用費124千円、委託料464千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			スポーツ施設利用件数 (町立武道館、学校施設開放)			3,300件		
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	町民	人	—	31,146	30,833	30,728	30,728
					活動指標 (活動量)	利用件数 (グラウンド・体育館・夜間照明)	件	計画値
	成果指標 (達成度等)	稼働率	%	目標値	70	70	70	70
実績値				61	70	—	—	
達成率				86.6%	100.0%	—	—	
定性的成果		—						

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している	
過去の外部評価等における指摘事項	—			
主な改善経過(過去4年間)	公共施設利用予約システムの活用による、継続した利用者の利便性向上、事務処理の軽減。			
課題	稼働率の更なる向上。			

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	公共施設利用予約システムの活用により、継続して利用者の利便性向上、事務処理の軽減を図りながら学校開放を実施できており、今後も稼働率の更なる向上を目指しながら町民のスポーツ推進、健康増進、体力向上を図っていききたいと考えているため。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	利用団体の増加のための方法を検討する。 夏季のスポーツ実施について、WBGT計測器を導入し、利用団体に未然に熱中症対策をするよう案内する。グラウンド利用について昼の活動を避けるため、開放時間を検討する。						
	R08年度	利用団体の増加のための方法を検討する。 夏季のスポーツ実施について、利用団体に未然に熱中症対策をするよう案内する。グラウンド利用について昼の活動を避けるため、開放時間を検討する。						
R07年度改善事項	熱中症対策のため、7月及び8月の小学校グラウンド開放時間を昼間の暑い時間帯を中止し、早朝及び夕方の時間を延長した。 また、学校開放利用団体や町内のスポーツ団体に対し、熱中症対策に関する講演会を行うとともに、各小中学校にWBGT計測器を導入し、熱中症対策を図った。							
記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	施設開放管理運営事業				事業番号	2 - 9 - 20						
細分事業名	学校プール開放事業				シート作成日	令和7年8月15日						
予算科目	会計	01	款	10	項	06	目	02	事業	02	事業開始年度	-
											事業終了予定年度	-
部等名				課等名				係名				
町民福祉部				スポーツ健康課				スポーツ推進係				

計画 (Plan)	総合計画	P 40	柱	I 安心安全でいきいきとくらせるまちづくり		
			部門	7 健康づくり・スポーツ		
			大施策	A スポーツ・レクリエーション活動の推進		
			中施策	(3) 公共施設の利活用の推進		
			施策目標	気軽にスポーツ活動ができる環境づくりとして、既存の施設の利活用を図ります。		
	事業の概要	根拠法令・条例等	学校教育法、スポーツ基本法、大磯町公立学校使用条例及び施行規則、大磯町立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則			
	個別計画等	けんこうプラン大磯				
	行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—		実施項目名	—
	目的 (何のために)	町民のスポーツ推進及び健康増進、体力向上を目的とする。				
	対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	夏休み期間中に町立小学校プールを有効活用し、町民へ開放するための管理運営を行う。					

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	国庫支出金	千円	3,533	3,493	3,485	3,833
			県支出金					
			起債	千円				
			その他					
			一般財源		3,533	3,493	3,485	3,833
	職員人数 (概算職員数)	人	0.25	0.16	0.20	0.11		
	人件費計 (b)	千円	1,475	944	1,183	700		
	総事業費 (a) + (b)	千円	5,008	4,437	4,668	4,533		
事業費内訳 (千円) R 07 年度	需用費200千円、役務費106千円、委託料3,527千円							
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			スポーツ施設利用件数 (町立武道館、学校施設開放)			3,300件		
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	町民	人	—	31,146	30,833	30,728	30,728
	活動指標 (活動量)	プール開設日数	日	計画値	31	31	31	31
				実績値	31	30	—	—
	成果指標 (達成度等)	入場者数	人	目標値	1,718	1,786	2,000	2,000
				実績値	1,786	1,885	—	—
達成率				104.0%	105.5%	—	—	
定性的成果	—							

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価等における指摘事項	—		
主な改善経過 (過去4年間)	学校プール開放による継続した町民の水泳の機会の提供。 熱中症対策として、プールサイド等に日除けネットを設置した。			
課題	町民ニーズを踏まえた学校プール開放実施期間の検討。 熱中症対策の検討。			

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	平成24年度から実施している学校プール開放は、地域からのニーズが高く、水泳の機会の提供することで町民の健康増進に寄与できていると考えるため。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	入場者数の推移を考慮した学校プール開放実施期間の検討。 日除けネットの設置。						
	R08年度	入場者数の推移を考慮した学校プール開放実施期間の検討。 熱中症対策の検討。						
R07年度改善事項	夏休みから1か月間、プール開放を行った。 熱中症対策として、日除けネットの設置、プールサイドへの定期的な水撒き、水温調整等を行った。							
記入日	令和8年3月23日							